



桜もご馳走 花見登山



雪入山 (茨城県) 4月6日
新人歓迎山行

5月の定例集会は
5月6日(火) 19:00~
我孫子北近隣センター 並木本館

定例山行計画

ご案内



定例山行計画		薬師岳 ～三ノ宿山 (1, 420m～1, 229m)		リーダー:大畠 グレード:2B	
月 日	2025 年 5 月 2 1 日(水) 日帰り				
山 域	日光	日の出日の入りなど	4 : 29 18 : 46		
目 的	新緑とシロヤシオ				
費 用	約 7,000 円	交通機関	JR 東武鉄道 タクシー バス		
行 程	我孫子駅 5:31→東武柏駅 5:47→春日部→南栗橋→東武日光駅（タクシー）→細尾峠→薬師岳⇒丸山⇒大木戸山⇒三ノ宿山⇒やしおの湯（バス）→東武日光駅（解散） ＜歩行時間：約 6 時間＞				
個人装備	日帰り装備一式				
メ モ	東武柏駅改札前集合 5：40 東武日光駅 解散 やしおの湯バス 15：57 17：35				

定例山行計画		赤城山（黒檜山～駒ヶ岳） （1. 828m～1. 685m）		リーダー：北田 提案者：藤崎、村松 グレード：1A
月 日	2025 年 5 月 24(土) 日帰り			
山 域	上州	日の出日の入りなど	日の出：4:31, 日の入り：18:50	
目 的	日本百名山の赤城山最高峰に登り、アカヤシオを楽しむ			
費 用	約 10. 000 円	交通機関	JR およびレンタカー	
行 程	我孫子 5:31→上野 6:04/6:15→高崎 8:03/30（レンタカー）→赤城公園ビジターセンター 10:00⇒（0:30）⇒黒檜山登山口⇒（1:30）⇒黒檜山⇒（0:50）⇒駒ヶ岳⇒（0:45）⇒駒ヶ岳登山口⇒ビジターセンター→高崎→上野→我孫子 （歩行時間：約 4 時間）			
個人装備	日帰り装備一式、雨具、ストック			
メ モ	・料金と利便性を考慮して、前橋からバスの一般的アプローチをやめて、高崎からレンタカー利用にしました。 ・雨の場合は中止にします。前日昼までに判断し連絡します。			

定例山行計画		塔ノ岳～丹沢山 (1450m)～(1,587m)		グレード: 2B リーダー: 新谷	
月 日		2025 年 5 月 27 日 (火) ～28 日 (水) 山小屋泊 1 泊 2 日			
山 域		丹沢	地形図	1/25,000 青野原・大山・中川	
目 的		新緑とシロヤシオを楽しみながら、ゆっくり歩く			
費 用		約 13,000 円	日の出 4:31 日の入 18:56	千代田線・小田急線・神交バス	
行程	1 日目	我孫子 5:31→日暮里 6:00/6:04→新宿 6:26/6:51→秦野 8:10/8:25 (バス) →ヤビツ峠 9:12/9:30→寺山富士見公衆トイレ→二の塔→三の塔→行者岳→成次郎ノ頭→木ノ又大日 →塔ノ岳 14:30 (泊) 尊仏山荘泊まり (歩行時間約 5 時間)			
	2 日目	塔ノ岳→日高→竜が馬場→丹沢山→塔ノ岳→金冷し→堀山の家→雑事場の平→大倉→バス→渋沢駅→代々木上原→我孫子 (歩行時間約 6 時間)			
個人装備		山小屋泊用一式			
メモ		尊仏山荘 2 食付き 8000 円 雨天中止 丹沢パスあり (新宿で購入)			

定例山行計画		小金沢連嶺縦走（石丸峠～湯の沢峠）		リーダー:北角 グレード:2 B
		小金沢山（2014m） 牛奥ノ雁ヶ腹摺山（1991m） 黒岳（1987m）		
月 日	2025 年 5 月 31 日（土）日帰り			
山 域	大菩薩嶺	日の出日の入りなど	日の出・入 4:30/18:55	
目 的	富士山・新緑を見ながら秀麗富岳十二景の二番を歩く			
費 用	約 7,500 円	交通機関	J R 栄和交通タクシー	
行 程	我孫子→5:41 柏→5:47 新松戸 6:01→高尾 7:39→8:42 甲斐大和 8:50→9:25 小屋平 9:30→石丸峠⇒小金沢山⇒牛奥ノ雁ヶ腹摺山⇒黒山⇒16:00 湯の沢峠→甲斐大和駅→我孫子 行動時間:6 時間 30 分 歩行時間:5 時間 走行距離:8.6 km 上り 831/下り 756			
個人装備	日帰り装備一式			
メ モ	休日お出かけパス利用 J R 大月→甲斐大和駅の運賃 330 円 甲斐大和駅～小屋平・湯の沢峠～甲斐大和駅はタクシーで行きます エスケープルート 引き返す・すずらん昆虫館前に下山 雨天中止 2 日前にメールで連絡します			

定例山行計画		御岳山～日の出山 (929m～902m)		リーダー:外崎 グレード:1A
月 日	2025 年 6 月 1 日 (日) 日帰り			
山 域	奥多摩	日の出日の入りなど		
目 的	ゆるゆる山行			
費 用	約 4500 円 (お出かけパス使用)	交通機関	JR, バス、ケーブルカー	
行 程	我孫子 (千代田線) 6 : 09→柏→新松戸 6 : 23/6:28→西国分寺 7 : 25/7:30→立川 7 : 35/7:40 →青梅 8 : 17 (乗り換え) /8:24→御嶽駅 8 : 41/9:12 (バス)→ケーブル下バス停 9 : 22→ 滝本 (ケーブルカー) →御岳山山頂駅→御岳山ビジターセンター→御嶽山 (御嶽神社) ⇒ 日の出山 (昼食) ⇒つるつる温泉日向和田 (バス) →武蔵五日市駅→拝島→立川→新松戸→ 我孫子 ＜歩行時間： 約 3 時間＞			
個人装備	日帰り装備一般、雨具			
メ モ	・ゆるゆる山行ですが、どなたでもご参加下さい。 ・入浴は参加者で決めます。			

定例山行計画		磐梯山 a (1,816m)		リーダー： 松下 グレード： 2B
月 日	2025 年 6 月 14 日(土) 日帰り			
山 域	会津	日の出日の入りなど	日の出 4:16 日の入り 19:01	
目 的	火山登山を経験する			
費 用	約 18,000 円	交通機関	電車、タクシー	
行 程	我孫子 5:42 → 上野 6:15/6:46 →新幹線やまびこ 203→ 郡山 8:20/8:29 →磐越西線快速(会津若松行) 磐梯町駅 09:24 磐梯町駅 9:30→タクシー→八方台登山口 9:50/10:10⇒中の湯跡 10:40⇒裏磐梯スキー場分岐 11:50⇒弘法清水⇒磐梯山頂上 12:40 昼食 磐梯山頂上 13:20⇒弘法清水⇒分岐⇒赤埴山分岐⇒天ノ庭⇒猪苗代登山口 15:30/15:40→タクシー→猪苗代駅 猪苗代駅→郡山駅（東北新幹線）→上野駅→我孫子駅 <歩行時間： 約 5 時間>			
個人装備	日帰り装備 + 活火山登山時の装備（ヘルメット、ゴーグル（無ければサングラス）、ヘッドライト、携帯電話予備用電源、ラジオ「手回し充電式」）			
メ モ	・ 雨天・荒天の予想される場合は前日昼 12 時までにはメールで中止の連絡をします。返信をお願いします。 ・ 磐梯山は、気象庁が火山活動を常時監視・観測している活火山です。突発的に噴火する可能性もあります。及び今回山行は実技研修対象山行です。追加装備をお願いする予定です。 ※火山用装備を記入			

定例山行計画		平 標 山 (1983. 8m)		リーダー:秋山 稔 グレード: 2B
月 日	令和 7 年 6 月 16(月) 日帰り			
山 域	谷川連峰	地形図地形図 (又は日の出日の入り)	日の出 4:27 日の入り 18:51	
目 的	高原の美しい花、展望を楽しみ疲れない登り方に挑戦する。			
費 用	約, 13, 000 円 (大人の休日倶楽部利用)	交通機関	新幹線 、路線バス	
行 程	我孫子、柏→上野 6:42(たにがわ 401 号)→越後湯沢 8:02/8:20→平標山登山口 8:54/9:20⇨ 鉄塔⇨ 松手山⇨平標山⇨平標山の家⇨平標山登山口→越後湯沢駅 歩行時間 7 時間 10、7Km 累計高度 1187m			
個人装備	日帰り装備一般、雨具			
メ モ	・ 上野新幹線ホーム 19 番線 6 時 30 分集合 ・ 累計高度 1187m タフなコースであり、ゆっくり、疲れない登り方に挑戦したい。 ・ 山行後、銭湯入浴予定です。 ・ 花の名山で高山植物、展望を楽しむ。 ・ 梅雨時、雨天時には延期致します。			

定例山行計画		破風山 (626. 5m)		リーダー:富井容 グレード: 1 A
月 日	2025 年 6 月 21 日(土) 日帰り			
山 域	奥秩父	日の出日の入りなど	日の出 04:47/日の入り 18:58	
目 的	奥秩父の絶景と温泉を楽しむ			
費 用	約 7,000 円	交通機関	JR・秩父鉄道・路線バス	
行 程	我孫子6:01→上野6:34/40→熊谷7:48/52→秩父鉄道 皆野8:47/9:00⇒9:30高橋沢入口⇒10:20ユズ園⇒10:50破風山山頂（昼食）11:10⇒11:30猿岩⇒12:10風戸入口バス停⇒12:30秩父温泉満願の湯（入浴） ※14:10（バス）→14:30秩父鉄道皆野駅14:42→17:35我孫子駅 ※16:05（バス）→16:25秩父鉄道皆野駅16:45→19:50我孫子駅 <行程時間 約 4 時間>			
個人装備	日帰り装備一式			
メ モ	※費用に秩父温泉満願の湯入浴料 1,100 円を含む			

※紙面の都合で 6/20～の「森吉山・桃洞沢」より前に掲載しています

定例山行計画		森吉山・桃洞沢 (1454m)		リーダー:白崎哲史 グレード: 2B
月 日		2025 年 6 月 20 (金) ～22 日 (日) 2 泊 3 日		
山 域		奥羽山脈北部	日の出・日の入りなど	
目 的		初夏の広大なナメ沢 (桃洞沢・赤水沢) と森吉山を楽しむ		
費 用		約 35, 000 円	交通機関	マイカー
行程	1 日目	我孫子 (5:00) →リゾートホテル フッシュ (15:00)		
	2 日目	リゾートホテル フッシュ 6:30 → 野生鳥獣センター 7:15 / 7:30 ⇒ 桃洞滝 9:30 / 10:00 ⇒ 桃洞赤水分岐 (赤水沢方面探索) 11:00/ 13:00 ⇒ 野生鳥獣センター 14:00 / 14:30 → リゾートホテル フッシュ 15:30 ＜歩行時間:約 5 時間 標高差約 100m＞		
	3 日目	リゾートホテル フッシュ 6:00 → ブナ帯キャンプ場駐車場 6:40/ 7:00 ⇒ 阿仁避難小屋 9:00 ⇒ 森吉山 9:30 ⇒ ブナ帯キャンプ場駐車場 11:00 → (温泉・昼食・夕食) → 我孫子 22:30 ＜歩行時間:約 4 時間 標高差 約 730m＞		
個人装備		日帰り装備一式+沢歩き装備		
メ モ		東北の秘境・奥森吉を訪ねる山行です。森吉山の東部には広大なナメ床があり (日本一)、北部の丘陵地帯にはこちらも広大なブナ林帯があります (「クマゲラの森」)。 ナメ床を流れる水が形成する沢は、桃洞沢・赤水沢の 2 つがつとに有名で、今回は桃洞沢を詰めて桃洞滝まで行きます。一般ルートは桃洞滝で終わりますが、バリエーションルートとして、桃洞沢～赤水沢の周回ルートが存在し、リーダーはその周回ルートを歩いたことがあります。ですから、希望者は桃洞滝の途中まで登ってみてもいいでしょう (ご自分の行動には責任を持ってください。上部まで登ると、降りるために補助ロープを用いて懸垂下降かクライムダウンする必要があり、そのロープをかけるリングボルトの設置場所が不明であるため、上までは登りません)。また、桃洞滝を少し登ってみたいという方は、ヘルメットを持参してください。 沢歩きの経験は問いません。一般ルートは全くの初心者でも歩けます。 沢歩き装備として必要なのは、沢靴 (フェルトソールでもラバーソールでもどちらでも可) とそれ用の靴下 (沢ソックス) で、すね当てパッドや膝パッドはなくても大丈夫です。ただし、パンツは速乾性の素材のものを着用してください (ショートパンツにスパッツでも OK です)。 桃洞沢はナメ沢なので沢床は基本フラットですが、甌穴が多数存在し、結構深いので落ちると胸辺りまで濡れます。ですので、沢歩きに携行するザックの防水対策はドライバッグで行ってください (詳細は参加者向けの山行通信で紹介)。 参加メンバーに余力があれば、桃洞沢と赤水沢の分岐から少し赤水沢方面も遡行してみます。 森吉山はクマの生息地で、麓の阿仁集落はマタギの里として知られています (かつて周回ときをお願いしたガイドさんも元マタギでした)。		

定例山行計画		針ノ木岳～スバリ岳～鳴沢岳 (2, 820m～2, 752m～2, 641m)		リーダー：鈴木忠 企画：篠塚 グレード：4C
月 日	2025 年 7 月 24 日 (木)～26 日 (土) 車中 1 泊・山中 1 泊 2 日 テント泊 予備日 7/27 (日)			
山 域	北アルプス	日の出日の入りなど	日の出 4：47 日の入り 19：00	
目 的	北アルプス中央部から大パノラマを望む。			
費 用	約 15,000 円	交通機関	マイカー	
行 程	日 1	7/24 我孫子 19：00 →藤岡 I C →佐久 I C →扇沢		
	2 日目	7/25 扇沢 5：00 ⇒針ノ木小屋テント場 10：33/11：13 ⇒蓮華岳 12：13/12：23 ⇒針ノ木小屋テント場 13：10 ＜歩行時間：7 時間 10 分＞		
	3 日目	7/26 針ノ木小屋テント場 4：00 ⇒針ノ木岳 5：06/5：11 ⇒スバリ岳 6：00/6：05 ⇒鳴沢岳 9：12/9：17 ⇒岩小屋沢岳 10：40/10：50 ⇒種池山荘 12：22/12：27 ⇒扇沢 16：08/16：30 →佐久 19：30 (温泉) →我孫子 ＜歩行時間：11 時間 08 分＞		
	備予	7/27		
個人装備	テント泊装備一式、軽アイゼン又はチェーンスパイク			
メ モ	・前日出発、車中仮眠。 ・軽アイゼン又はチェーンスパイクを携行。(針ノ木雪渓) ・天候が悪い場合は周回コースではなく、針ノ木岳往復又は中止。 ・ゆっくりペースで設定。(YAMAP×1.1) ・テント泊装備を背負って縦走のできる方の参加を求めます。			

定例山行計画		燕岳 (2,763 m)		リーダー:村越 グレード:2B
月 日		2025 年 9 月 7 日(日)～ 9 月 9 日(火) 2 泊 3 日 山小屋泊		
山 域		北アルプス南部・常念山脈	日の出日の入りなど	日の出 5:20、日の入り 18:19
目 的		北アルプスのパノラマを見る		
費 用		約 45,000 円ジパング利用	交通機関	JR、バス、(タクシー)
行 程	1 日目	我孫子 8:15→日暮里 8:46/54→新宿 9:16/10:00 あずさ 13 号→松本 12:37/13:09→穂高 13:34/14:50→バス→中房温泉 15:45 泊 <歩行時間 >		
	2 日目	中房温泉登山口⇒第 3 ベンチ⇒合戦小屋⇒燕山荘⇒燕岳⇒燕山荘泊 <歩行時間:6 時間 30 分 >		
	3 日目	燕山荘⇒合戦小屋⇒第 3 ベンチ⇒中房温泉登山口⇒中房温泉(温泉&昼食)→穂高→あずさ→新宿→日暮里→我孫子 <歩行時間:4 時間 30 分 >		
個人装備		小屋泊一式		
メ モ		・中房温泉で前泊します。穂高駅下車。希望者で穂高神社に行きます。 ・2 日目は中房温泉登山口から燕山荘、荷物を置いて燕岳山頂を往復し、燕山荘で宿泊。 ・3 日目は中房温泉登山口まで下山し中房温泉か、有明荘で温泉に入ります。		

定例山行報告

準定例山行報告		御前山（厄王山）～ 馬立山 ～ 菊花山 (730m) (797m) (644m)		リーダー:佐藤清宏 グレード: 2B
月 日	2025 年 4 月 5 日(土) 日帰り			
山 域	中央線沿線（道志都留）	日の出日の入りなど	5:26 / 18:09 （大月市）	
目 的	初級リーダー養成研修			
費 用	2,720 円（休日おでかけパス）	交通機関	JR	
行 程	我孫子→5:32 →新松戸 5:46/50 →西国分寺 6:47/55 →高尾 7:20/24 →大月 8:10 大月駅 8:25 ⇒① 厄王山四合目鳥居 8:55/9:05 ⇒②③ 御前山 10:05/35 ⇒④沢井沢ノ頭 10:55/11:00⇒ ⑤⑥ 馬立山 11:35/12:15 ⇒ ⑦⑧⑨ 沢井沢ノ頭 12:35/55 ⇒菊花山 13:55/14:05 ⇒分岐 14:20/25 ⇒金毘羅コース ⇒登山口 14:45 ⇒大月駅 14:55 ⇒無辺寺コース⑩ 大月 16:13 →東京 17:54/18:03 →我孫子 18:43 ＜ 歩行時間：4 時間 3 0 分 ＞ ＜ 行動時間：6 時間 3 0 分 ＞ ＊○数字はメモに内容を記載			
ル ー ト 状 況	○道標はきちんとしており迷うことはないが、ガレ場、ロープ・クサリ場、急な下りなど通 過に注意を要する箇所がいくつかあった。 ○御前山、菊花山からの眺望は素晴らしかった。（富士山は残念ながら雲の中だった） ○2 月末の山火事の焼け跡が何ヶ所もあり、山火事の怖さを身近に感じた。			
参 加 者	L 救急佐藤清、 SL 写真矢野貞、 記録やまなみ北角、 記録やまなみ大賀、 記録やまなみ鈴木忠、 旗写真吉川 男 2 名、女 4 名 計 6 名			
メ モ	○初級リーダー養成研修の実技をおこなった。 ①地図読み（地理院地図とコンパスで進行方向） ②山座同定（5 万図） ③日帰り装備一 式の確認 ④単独行動を申し出た者への対応（絶対にひとりにしない） ⑤クサリ場（シュ リングで簡易ハーネスを作りカラビナを通したシュリング 2 本を使って確保しながら通 過） ⑥ツェルトの張り方を二通り ⑦緊急時の対応と連絡方法 ⑧応急処置（三角巾使用）⑨救 急バッグには何が入っているか確認 ⑩金毘羅コースはクサリ場があるので、手を負傷中 の方に SL が付き二班に分かれて下山 ○2 月末の山火事の跡を地元山岳会の方が整備していた。 ○馬立山頂上で昼食をとった場所の頭上にサクラが咲き始めていた。田中澄江『新・花の百 名山』の九鬼山の項に“フジザクラ”＝マメザクラ、と登場する花かも？			



御前山にて



登山口で地図読み



ツェルトを張る



簡易ハーネスを装着



山火事の跡



菊花山にて

定例山行報告		雪入山 (345m)		リーダー:秋山、小島 グレード:1A
月 日	2025 年 4 月 6 日(日) 日帰り			
山 域	筑波山城	日の出日の入りなど	5 : 19／18:05	
目 的	新人歓迎会			
費 用	約 5200 円	交通機関	大型観光バス	
行 程	我孫子 6:17→小町いやしの里 7:20/40→スタート地点バス下車 7:50/8:03→ 1 班 : 捨光寺観音⇒雪入ふれあいの里公園 9:02/20⇒石嘴桜 10:05⇒黒文字平 10:34/54⇒ 雪入山 11:15⇒剣ヶ峰 11:30⇒中央青年の家 2 班:剣ヶ峰 8:36/49⇒あきば峠⇒浅間山 9:46/10:00⇒雪入ふれあいの里公園⇒中央青年の 家 12:20 県立中央青年の家 BBQ 場昼食 3 : 15→我孫子 5:00 <歩行時間 : 3 時間>			
ルート 状 況	★中央青年の家は利用開始時間が 9 時からなのでスタート地点を決定する迄時間がかかる。 フルーツラインと中央青年の家の通りの交差点は 8 時頃交通量が少ない事を確認してスター ト地点とした。 ★登山道は一部悪路があったが概ね良好であり案内板も各要所にあった。			
参加者	A 班 秋山、高橋、千葉、武内、鈴木(忠)、小林、山田 B 班 富井、白崎、相見、郷田、鈴木(真)、田村、齊田、中村 C 班 佐藤(清)、斎藤、鈴木(利)、大畠、村越、石塚、本田、矢野(裕) D 班 L 小島、矢野(貞)、篠塚、記録佐藤(明)、点呼北田、カメラ田嶋、食担一氏、村松 E 班 SL 北角、食担藤崎、中村、点呼倉本、医療土田、班会計吉川、記録小島(洋)、旗佐藤 (健)			

会計報告は「定例山行報告」の最後にあります







篠崎さんより

昨年 5 月に入会して 11 ヶ月が経ち、知り合いになった方も増え楽しい山行ができました。バスでの山行も初めてで、皆で一緒に行けるのも良かったです。今回の雪入山山行は桜が見やすいようにコースが設定され、淡いピンクの山桜が一面に見られてとても良かったです。登山コースは歩きやすくて山の空気も良く、黒文字からの筑波山は山々が重なり良い景色が見えました。昼食のバーベキューは、班の皆さんと協力しながら調理を行い、話しながらお肉、野菜、焼きそばで満腹になりました。食後のゲームも楽しかったです。皆様、大変お世話になりました。ありがとうございます。今年は 2 年目になります。引き続き皆様方のご指導を頂けたらと思います。よろしくお願いいたします。

相見さんより

街中でも桜が満開の時期。山間部でもソメイヨシノをはじめとした桜が山を華やかにしていた。驚いたのが、一つの山に複数種類の桜があることだ。そして、ネイチャーセンターでは生息している野生動物の剥製があり、自然の豊かさを感じることができた。季節毎に素晴らしい景色を見せてくれるのだろう。我々B グループは景色を楽しみつつ、ゆるゆると進んでいった。途中、不安箇所は念のため地図を見たり、お互いコミュニケーションを取り合ったりもした。雨が心配されたが、BBQ 時には本降りですぐに晴れ間が優勢であった。大勢で楽しく交流出来、いい山行だったと言えるだろう。

定例山行報告		箱根峠 (846m)		リーダー:矢野朝 グレード:1A	
月 日		2025 年 4 月 10 日(木)～11 日(金) 1 泊 ゲストハウス泊			
山 域		箱根山城	日の出日の入りなど	日の入り 18:00	
目 的		東海道の難所箱根峠を越え、箱根の自然を愛で江戸の昔を偲ぶ。			
費 用		約 1 万 5,000 円(反省会費用を含めない)	交通機関	JR、箱根登山鉄道	
行 程	1 日目	我孫子 6:27→東京 7:13/27 こだま 705 号→小田原 8:00/24→箱根湯本 8:40⇒早雲寺 9:10⇒畑宿 11:20⇒榎木坂 12:05⇒甘酒茶屋 13:35⇒成川美術館 14:50⇒ゲストハウス「ルミ」15:50⇒箱根神社 16:30⇒ゲストハウス「ルミ」17:00⇒夕食(ラ・テラツア芦ノ湖テラス) 17:20/19:30⇒ゲストハウスで歓談 ＜歩行時間: 約 8 時間＞			
	2 日目	6:00 ゲストハウス「ルミ」にてコンビニで買った食品で朝食→出発 7:00⇒杉並木 7:30⇒箱根関所 7:45⇒箱根峠 8:50⇒山中城跡 10:25⇒眺めのよい街道脇で昼食 11:35/55⇒三嶋大社 14:10⇒三嶋大社前の「せせらぎ門前茶屋」で反省会の後三島駅 15:24 こだま 726 号→品川 16:11/17⇒我孫子 17:06 ＜歩行時間: 約 8 時間＞			
ル ー ト 状 況		・箱根峠越えの旧東海道は石畳の道が残されており、雨上がりで滑りやすい所があったが、大事には至らなかった。参加者にもよるが坂が多いので結構きつい所もあった。 ・杉並木や松並木が残り、坂や一里塚など歴史的な場所では説明板が整備されており、江戸の昔を偲ぶことが出来た。			
参 加 者		矢野朝 (L)、佐藤清 (SL)、高橋芳、中村八、北田、武内、藤崎、平野、佐藤健、佐藤明新谷、田嶋、室崎育美 (ゲスト) 男 5 名、女 8 名 計 13 名			
メ モ		・4月11日(金)は雨の予報だったが、雨に降られず幸運だった。雨だったら元箱根から三島への歩きは無理でバスで帰るほかなかった。 ・成川美術館は日本画家の大作が揃っていた。ここからの芦ノ湖の展望は素晴らしかった。 ・ゲストハウスは初めてだったが、大きなテーブルがあり、食事や懇談に都合が良かった。1泊素泊まり一人4,000円で格安だった。ただし、男の部屋(2段ベット3)は相部屋だった。 ・どこへ行っても桜が素晴らしかった。満開を過ぎた桜吹雪もよかった。 ・イタリアン(ラ・テラツア芦ノ湖テラス)の食事はおいしかった(と思います)。 ・箱根神社と三嶋大社にお参りしたので今年は良い年であることを期待しています。			



石畳の道



杉並木



甘酒茶屋



箱根神社



箱根関所



つつじと枝垂れ桜



松並木

定例山行報告		裏妙義縦走 丁須の頭 (1057m)		リーダー:細谷 グレード:2E	
月 日	2025 年 4 月 15 日(月) 日帰り				
山 域	上毛三山	日の出日の入りなど	日の出 5:11 日の入り 18:13		
目 的	ジャンへの道 裏妙義縦走				
費 用	約 5,000 円(反省会費用は含めない)	交通機関	マイカー		
行 程	我孫子 5:10→国民宿舎裏妙義駐車場 9:11/9:49⇒丁須の頭 11:52/14:30⇒赤岩 15:05⇒烏帽子岩 15:22⇒三方境 15:46/15:55⇒もみじ谷 16:23→国民宿舎裏妙義駐車場 17:17/17:35→妙義グリーンホテル 18:00/19:00→我孫子 22:30 ＜行動時間 7:28 歩行時間 4:44 距離 7.6Km 登り 845m 下り 845m＞				
ルート状況	増水により、渡渉困難箇所数箇所、岩の取り付け水没 1 箇所、トラバース箇所の崩落多数(補修済み)				
参加者	鈴木(忠) 千葉(有) 土田 細谷 男 3 名、女 1 名 計 4 名				
メ モ	前日から朝まで雨が降ったため、沢が増水しており、渡渉時に神経を使う場所があった。濡れても滑りづらい岩質のため、慎重に登れば問題はない。 丁須の頭は、L がロープをセットし、全員が登頂することができた(技術的には問題ないが、高度感はかなりある) 20m ルンゼはルンゼ右側の垂直な岩を懸垂で下降した。 20m ルンゼから三方境までは崩落したトラバース区間が多数あるが、一応鎖があり、足もステップが切っており、一部ステップがない箇所もある 丁須の頭、20m ルンゼを通過して、気が緩んだ状態で進むと、滑落の危険性がある。 三方境までは、気を抜いてはいけない。 三方境以降も沢を横断する箇所などで崩落している箇所もあるが、滑落＝死亡のレベルではない。 とにかく、登山道から林道に出るまでは、気を抜いてはいけない山域だ				



20m ルンゼ_懸垂下降する

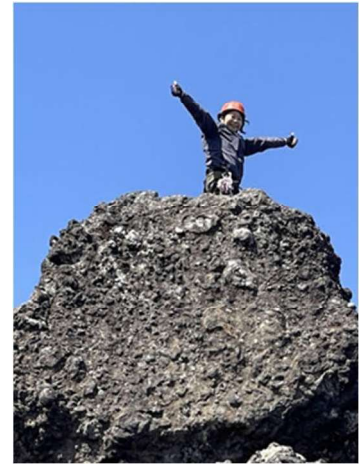


20m ルンゼ下降途中から若干ハング気味なので下は見えません



ルンゼ先トラバース
途中から鉄の通路が
なくなります

全メンバーアタック成功（バックは丁須の頭）



丁須の頭全景

稜線手前の滝

定例山行報告		琴平丘陵 (398. 8m)		リーダー:高橋芳 グレード:1A	
月 日	2025 年 4 月 18 日(金) 日帰り				
山 域	秩父	日の出日の入りなど	出 5 : 06 入り 18:17		
目 的	秩父札所から芝さくらの丘へ ゆるゆる山行で楽しく交流する				
費 用	約 5,000 円(反省会費用は含めない)	交通機関	JR 西武秩父線 秩父鉄道		
行 程	我孫子 5 : 31→日暮里 6:00/04 池袋 6 : 34 飯能 7 : 30／42→西武秩父 8 : 34→お花畑 9 : 02 影森 9 : 05／18⇒大淵寺 9 : 31／36⇒岩井堂 10:36/50⇒長者屋敷跡 東屋 11:17/43⇒羊山公園 芝桜の丘 12:52／13:44⇒西武秩父 14:03／14:10→飯能 14:57／15:14→池袋 16:03/09 →日暮里→我孫子 17 : 05 ＜歩行時間：約 3 時間半＞				
ルート 状 況	琴平丘陵ハイキングコースはかつての秩父 34 か所巡礼道、修験道であり、短いコースながら岩・ロープ・鎖がある。最高峰 390m地点は作業のためう回路の案内があった。標識は明瞭。				
参加者	CL 高橋芳 SL 森岡 秋山(新人研修) カメラ 斎田 田嶋 記録 中村弘 点呼 本田 大賀 渉外 石塚 平野 会計 鈴木真理 やまなみ 大山 旗 外崎 会友 箕輪カ 渡辺 新人 奈桐 男 4 名、女 12 名 計 16 名				
メ モ	＊事前にゆるゆる山行は決してレベルの低い山ではなくどんな山でもゆっくり歩けば誰でも可能であることを参加者に伝え、久しぶりに参加された会友、会員、新人も親しく過ごすことができた。巡礼旅のため願い事、頼みごとをたくさん抱いて参加していただくようお願いした。 ＊秩父線影森駅から秩父札所 27 番大淵寺からハイキングコースに入った。寺内には「騒ぐな、盗むな、汚すな」と険しい言葉が書かれた表示板が何か所か見られたが、巡礼を迎える寺にしては少し厳しすぎる表現では？と思った。少し行くと白衣観音の優しい笑みに迎えられた。 ＊その先を 20 分ほどで札所 26 番の岩井寺、その名のように岩交じりの道が続く、清水寺のようにせり出したお堂でしばし休憩をとった。苔むした石段、すり減った様に歴史が感じられる。その先には鑄造の大仏、修験堂が岩の上に建っている。このお堂を巨岩の上に建てるのはさぞかし大変なことだったのであろう。道はアップダウンを繰り返し、ヒトリシズカの群生や足元のスマレを楽しんだ。長者屋敷跡で昼食、待望の秋山珈琲店開店でおいしいコーヒーをいただいた。最高峰は只今、作業中のため入れず、う回路を羊山公園の標識を見ながら下った。 民家が見えるあたりで地元の養蜂農家が道にはちみつを出しており、国産、地場のはちみつを驚きの安さで購入できた。勝手にお金を置いておいてくれと養蜂作業中の奥さんに言われたのには「大丈夫ですか？」と念を押しお金をその場に置いた。ここから羊山公園に登り、羊山広場に出た。名前の通り羊の牧場、芝桜の丘、さくらまつりのご当地マルシェが開催されており、思い思いに芝桜やご当地物産を楽しんだ。西武秩父駅までは約 20 分急坂を下り、予定より 40 分早い電車に乗ることができ、夕方のラッシュを避けての帰還となった。 ＊駅から駅の名残の桜を楽しみながらのハイキング旅は参加者の友好的な雰囲気ホットできるゆったりした一日だった。 ＊新人奈桐さんは教官からマンツーマン指導で、しっかり講習できたことを改めて報告します。				



長者屋敷跡で昼食



岩井堂



大淵寺



新人と教官

柴桜の丘



柴桜の丘から武甲山



マルシェで地場産の
ソフトクリーム

定例山行報告		妙義山中間道（自然探勝路） （最高標高 968m）		リーダー:吉川 グレード:2B	
月 日	2025 年 4 月 19 日(土) 日帰り				
山 域	上州	日の出日の入りなど	日の出 5 : 20、日の入り 18 : 14		
目 的	岩場を楽しむ、春の草花を楽しむ				
費 用	約 7,500 円(入浴料を含む、帰りのみ新幹線利用)	交通機関	JR、レンタカー		
行 程	我孫子 5:31→上野 6:04/6:12(高崎線)→高崎 8:03/8:15(レンタカー)→道の駅みょうぎ 9:10/9:20⇒妙義神社 9:35⇒第二見晴 10:30⇒東屋(昼食)11:20/11:50⇒天狗のひょうてい 12:50/13:15→石門入口 14:00⇒休憩所(トイレ)14:10⇒一本杉 14:20⇒もみじの湯 15:30(入浴)/16:20→高崎駅 17:30 ＜歩行時間 4 時間 45 分＞歩行距離 8.9km				
ルート状況	登り口は妙義神社の長い階段を登り切ったところにある本堂脇にある。前半はアップダウンが繰り返しある。後半の石門群の鎖場は、足がかりがあるので慎重に登り降りすれば問題ない。				
参加者	吉川(L)、矢野貞(SL)、北田(記録)、小島洋(会計)、小林(写真)、富井、北角 男 2 名、女 5 名 計 7 名				
メ モ	・日本三大奇勝の一つの妙義山、間近に見る奇岩・石門は大迫力だった。 ・石門群までは登り降りが繰り返し続き、その後のやせ尾根にかけられた長い長い鉄の梯子階段は、足の置き場が不安定で疲れた足に堪えた(当日の累積標高約 1,000m)。第四石門、第二石門の長い鎖場ではみんなで声を掛け合い、特に下りは注意して降った。通過し終わるとワクワク楽しい鎖場だった。 ・通行止めだった箇所が去年 6 月に復旧し、妙義神社から石門群へと 4 年ぶりに通過できるようになったが、第四石門前の広場は 2 年前の台風で流出した土砂が生々しく置かれたままだった。石門やその周辺は見るからに崩れそうな岩で、またいつ崩れてもおかしくないと思われた。 ・当日は今年一番の暑さの予報だったため水分補給を意識した。時折いい風が吹いてくれて心配したほどの暑さではなかったが、しっかり汗はかいた。 ・昼食場所予定の東屋は先客がいたためその脇の木陰に場所を取った。かえってそちらのが眺めがよくて風を感じながらの気持ちいいランチタイムとなった。 ・この時期ならではの柔らかな新緑やピンクのミツバツツジが癒しとなってくれた。10 日前の下見時に咲いてなかったさくらの里公園の桜たちもちょうど満開だった。 ・松井田でタクシーより、電車の本数が多い高崎でレンタカーにして特に帰りは好都合だった。行きはレンタカーの営業 8 時に合わせて在来線だったが、帰りは高崎-上野を新幹線にして 1 時間早く帰りつけた。 ・岩場が多い山は不慣れでリーダーを務めるのは不安が大きかったが、皆さんにサポートしてもらいながら無事下山できメンバーに大感謝。下見に同行いただいた皆さんにも大感謝。				



ヒトリシズカ

最初の鎖場を上がると
第二見晴 後ろは金洞山



鎖場を慎重に降りる



高度感バッチリ



カニのよこばい



ダイナミックな第一石門



長い鎖場

定例山行報告			半月山 (1753m)		リーダー：村越 企 画：鈴木利 グレード：2A
月 日	2025 年 4 月 20 日(日) 日帰り				
山 域	栃木県日光市		日の出日の入りなど	日の出 5:02、日の入り 18：21	
目 的	半月山山頂(展望台) より男体山と中禅寺湖を望む				
費 用	約 5,000 円		交通機関	J R、東武鉄道、バス	
行 程	我孫子 5:31→柏 5:35/51→春日部 6:34/43→南栗橋 7:01/03→東武日光 8:18⇒J R 日光駅 8:23/32(東武バス)→中禅寺温泉 9:20/28⇒立木観音⇒登山道入口 10:25⇒半月峠 11:40⇒半月山展望台 12:10/45⇒半月山山 2:50/55⇒中禅寺湖展望台 14:05/10⇒狸山 14:25⇒茶ノ木平 15:30⇒中禅寺温泉バス停 16:15/38→東武日光 17:10(解散) ＜歩行時間：6 時間 行動時間：6 時間 46 分＞				
ル ー ト 状 況	立札、木の幹に印があり、迷うことはなかった。 北側斜面には所々に残雪があり、危険を感じることもあったので声を掛け合って注意しながら下山した。				
参加者	村越、秋山、大畠、大山、田嶋、藤崎、田村、鈴木真、鈴木利、倉本 男 3 名、女 7 名 計 10 名				
メ モ	快晴とはいかなかったが、穏やかな天気恵まれ無事に山行を行うことができた。 日曜日にもかかわらず、登山道も展望台もほぼ貸し切り状態でとてもラッキーだった。 半月山展望台から見た中禅寺湖と雄大な男体山はすばらしかった。				



半月山山頂で！！



半月山展望台より、中禅寺湖と雄大な
男体山



霧の中の下山



残雪を踏んでの下山



登り、狸窪(ムジナクボ)まで 1.7km



展望台貸し切りでランチ & コーヒー

●新人歓迎山行の会計報告 (P10)

入金		出金	
参加費(¥7,000×44名)	308,000	バス会社へ支払い	145,992
		ドライバーさん心付け	2,000
参加費(¥5,000×1名)	5,000	振込料	440
		B B Q代(施設利用料を含む)	55,270
会補助金(39名×¥500)	19,500	飲み物代	17,323
		布巾他雑費	2,349
		キャンセルによる返金 5名	30,800
		〃 1名	2,000
		新会員へ返金 3名	6,000
		参加者へ返金(39名×¥1,800)	70,200
		残金は会へ戻入	126
合計	332,500	合計	332,500

運営委員会・山行部会議議事録

令和7年度 運営委員会(第2回) 議事録

令和7年4月15日(火)

1. 行事予定 (令和7年5月～令和7年7月) : 巻末に掲載

2. 各部より

《会長》 *先日の新人歓迎山行、ご苦労様でした。

桜がグッドタイミングで気持ち良い山行でした。

去年の山行は、雨で中止が多かったですが、今日もたくさんの山行計画が出ています。

今後も楽しい山行計画がたくさん出ると良いです。(白崎)

《副会長》 *新人歓迎山行は、用意周到で何度も下見に行き、計画を立てて実行してくれました。

先日参加した箱根峠山行のリーダーも、下調べが素晴らしく皆さんも見習って、またリーダーに敬意を払ってほしいと思います。(北田)

*新人歓迎山行の昼食に県立の BBQ 施設を利用しました。くっついたお肉を、手が汚れるのも気にせずほぐして焼いてくれた人とか、使用した鉄板は煤だらけだったのに返却の時は裏まできれいに洗ったり、とても汚れていたトイレを掃除したり、使用した場所を丁寧に掃除して下さった方々がいて、みんなの力を感じました。(矢野裕)

《総務部》 *7月1日の定例集会の場所はいつもの並木本館が取れていないので未定です。

*4月の定例集会後の片づけの時に、椅子が倒れて穴が開いたホルルの壁の修理について、市の保険は使えないので会の会計から修理費を出すことを確認しました。

《山行部》 *特になし

《会計部》 *特になし

《装備部》 *わかんのベルト部分が劣化しているので、修理に出したい。

《会報部》 *特になし

《県連》 *県連主催の講習会、クライミング1名、ハイキング安全講習会5名、6月登山講習3名参加されます。ありがたいです。

*全国カレンダーの写真の募集があります。奮って応募して下さい。

5月定例集会所	本田愛子さん	やまたん原稿 締切り	5月号	4月25日(金) 小山さん
			6月号	5月25日(日) 矢野貞子さん

北田、矢野裕、室崎、白崎、矢野貞、細谷、佐藤清、武内、大畠、秋山、千葉、田嶋、小林、土田、一氏、中村八、藤家、中村育、松下、高橋芳、郷田、齊田、外崎、鈴木忠、飯塚、大賀
(運営委員26名)

1. 山行部より

どの山に登ろうか、と考えた時に、テレビで視た・雑誌に出ていた山の姿やその山の頂上からの眺め、足元に広がるお花畑、さらに地元の美味しい食べ物など、考えただけで楽しくなります。そこには未知の世界へのあこがれがあります。地図を見てガイドブックで調べてコースを考え、山行計画書ができました。さあ、出発！ ちょっとその前に、山には・未知の世界には危険がつきものです。登山届を出しておこう。県警のHPを検索しました。すると、たくさんの登山情報が載っています。まずは、最新の遭難発生事例。近年は中高年の事故が多い。安全登山のための注意事項や装備品チェック、応急手当の知識も載っていました。もちろん遭難した時の対応方法も。ぜひ一度、自分が登る山の県警HPを開いてみてください。安全で楽しい山行を続けていきましょう。

(山行部長)

2. 山行計画（5月～6月）：巻末に掲載

3. 教育研修

【机上研修】

日程	対象者	研修場所	研修内容	担当講師	資料等
5月6日	新人	定例集会	山の歩き方・ストックの使い方と扱い方	齊田	
5月6日	全員	定例集会	登山を長く続けるために（講習会から）	北田・秋山 齊田・田嶋	
6月3日	新人	定例集会	山行中の食料と水の飲み方	秋山	
6月3日	全員	定例集会	山で迷わない為の地図読み	佐藤清・鈴木忠	

【実技研修】

日程	山名	対象者	研修内容	担当講師
5月	薬師岳～三ノ宿	参加者	新緑とシロヤシオ	大畠
6月	磐梯山	参加者	火山登山を経験す	松下

4. 山行報告

山名	参加者数		山行No. 1346	やまなみ	カメラ	ヒヤリハット	特記事項
	会員	一般					
4/5（土） 御前山～菊花山	6		1346	北角 大賀 鈴木忠	矢野貞 吉川	無	初級リーダー養成実技研修
4/6（日） 雪入山	39		1347	小島徹	鈴木忠 白崎 村越、田嶋	無	新人歓迎会
4/11-12（金土） 箱根峠	12	1	1348	新谷	矢野朝	無	
4/14（月） 裏妙義山	4		1349	細谷	鈴木忠	無	蛭がいた

5. 新人歓迎報告等

予定通りのコースを予定時間に回れた。何回も下見してバス下車場所、コースを決めたのが良かった。山桜も満開、お天気は山行中は持って BBQ の間に雨が降ったが屋根付きの施設だったので問題なかった。心配していた、後片づけ作業も、全員が協力して短時間で終わった。BBQ、施設使用料が安価だったので一人 1800 返金になった。(P 2 2 参照)

6. その他

- ・ 岳人あびこグレード表について
リーダーでも見たことが無いという会員もいたため、HP 会員専用ページに掲載にしてもらいます。山行計画を立てる際の参考にしてください。
- ・ 個人山行計画書の提出時の形式のお願い
1-1、1-2 の山行計画 会議やまたん用様式を利用して、次頁の様に提出日・受理日欄を及び緊急連絡先記入も 【参照：労山基金の HP をご覧ください】 してください。

【記入例】

山行計画書		提出日 2025 年 月 日		受理日 2025 年 月 日		岳人あびこ	
個人山行計画		山 名 (m)				L : G :	
月 日	年 月 日						
山 域			交通機関				
行 程	* エスカープルートが有れば記入						
装 備							
留守宅	家族可						
緊急連絡先	〇〇警察地域課 TEL 00-000-000						
参加者名	山田太郎、山田花子、〇〇						

記入上の注意: 受理日は山行部で記入します ・ 個人山行用の様式は山行部で作成後、HP 会員専用ページに (4 個人山行届様式) として掲載を予定しています

(リーダー) 外崎 高橋芳 大畠 武内 千葉 佐藤健 矢野貞 本田 矢野裕 村越 大平 北田 石塚 室崎
小林安 田嶋 佐藤清 森岡 小野 松下 矢野朝 白崎 小島徹 土田 飯塚 秋山 小山 富井
細谷 吉川 齊田 中村育 北角 大賀 鈴木忠 (欠) 北川 新谷 藤家 一氏 小島洋

4 月 教育研修

遭難事故例より読み解く原因と対策議論（県連研修より）

2025.04.01

<進行>

講師：白崎さん、高橋さん、相見さん（司会）
内容：（県連での研修から）…広島県、十方山滑落死亡事故
配布物：添付の2点（事故報告書、要点整理）
事故の概要説明（高橋さん）
補足説明（白崎さん）
グループに分かれ、高橋、白崎、相見さんが一人ずつ
加わって 各グループの司会と書記を指名し討論開始



《白崎 G》

事故時に使用した細引きで緩みを検証中の掲載写真

【事故の主な原因】

- ・時間の管理ができずに暗くなって迷った。下山を焦った。
- ・地図読みができていない。付近で最も危険と思われる崖の上のルートを選択している。
- ・ロープを使う前に引き返すべきだった。
- ・ロープを使うのであればスリングとカラビナでバックアップを作るべきだった。
- ・メンバーの体力、技量にあった山行ではなかったのではないか。
- ・道迷いに気づいた時点で引き返すべきだった。
- ・リーダーがメンバーの体力や技量を把握できていないのではないか。

上記の原因を鑑みて具体的な対策

【リーダーとして】

- ・山行のグレードをメンバーに周知して山行に適さないメンバーの参加は断る。
- ・メンバーの体力などを考慮して、タイムスケジュールは十分に余裕をもって管理する。
- ・山行中は常に現在地を把握し、それでも迷った時は GPS 等も活用して原則引き返す。
- ・やむを得ずロープを使う場合はフリクションノットなどのバックアップを作る。

【山行メンバーとして】

- ・体力、技量、経験に合った山行を選び参加する。
- ・体調不良や技量に合わないルートだったときは遠慮なくリーダーに相談する。
- ・道迷いや行動の遅れに対してはリーダーに助言もする。

《高橋 G》

事故原因

【リーダーとして】

- ・出発時間が遅い。時間を考慮する必要があった。（訓練等）
- ・下見を行っていない。テントをもっていたのでビバークする選択もあった。
- ・帰りのルート（バリエーション）の確認ができていなかった（安全ルート）
- ・ルートが変更され、把握されていない。判断のふらつきがある
- ・各個人のレベル把握ができていなかったのでは
- ・崖が暗くてわからなくなっているのに、対応を考えるべき
- ・L・SL の経験豊かさに過信が。
- ・道が見えることでの判断誤り？

【山行メンバーとして】

- ・雪山での動作確認が把握できていない
- ・誰も道迷いに気づいていない

- ・ 装備が不十分
- ・ 参加者との意思疎通ができていなかった。
- ・ 日没になり、あせり。時間の余裕がない。
- ・ カラビナ、シュリングを持っていなかった。
- ・ 地図やアプリの確認をしていなかった

《相見 G》

事故原因

【リーダーとして】

- ・ 朝のスタートが遅い 原因
- ・ 細引きで降りるという判断ミス。若いから？という過信
- ・ 新人を連れて行くのに下見をした様子がない
- ・ 準備不足
- ・ 計画通りの時間でないなら、訓練をしないという選択もするべき
- ・ 時期的に 14 時過ぎると暗くなる。見落とす。間違える
- ・ 各個人のレベルを考慮していない
- ・ そもそも計画、準備期間があいまい不足

【山行メンバーとして】

- ・ みんなで確認しながら降りたのか
- ・ メンバーで意見が言い合える感じではなかった？
- ・ 各自の甘い考えがあった？

「十方山滑落死亡事故」研修後の感想

- ・ 研修場所を変えたりしたら下見ができませんよね。雪山研修は無雪期に下見してリーダーは地形と登山を確認しなければいけないと思いました。あまりにも計画がずさんですね。迷ったらヤママップやヤマケイで現在位置情報を確認する。そのためには事前に地図をスマホ上にダウンロードしておく必要があります。
- ・ 今回の事例研究では、3 つのグループに分かれて感想を述べあったことで各人の意見を聞くことができ、良かった。グループ討議の時間が短かったのが残念だったので、次回は討議の時間をもっと設けて、全員参加の機運を盛りあげられれば良いと思いました。事例は自分たちの活動でも起こりうる出来事として適切なものだった。
- ・ 実例に基づく遭難事例の研修は大変有意義でした。特に事前に資料を配信して頂き、遭難事故の概要を理解し、前もって自分なりに問題内容を考えておく事が出来た。又グループ討議でそれぞれの意見を確認し合う事も大変勉強になりました。改めて、山岳遭難は如何にベテランのリーダーがいても、もう少しという気の緩みを戒め、メンバーの技量、体力の違いを考慮した行動が重要かを再認識させられました。山の会に相応しい研修内容でした。
- ・ 大変有意義な研修でした。いろいろ考えさせられました。白崎会長が最後に言われた会の会則「自立した登山者を目指す」、これがいかに大事なことであるかがよくわかった気がします。登山は無事に帰りつくのが当たり前ではないと肝に銘じて、事前のコース確認も含め山行前の準備をこれまで以上にしっかりしようと思います。
- ・ 亡くなった女性の無念を思いました。今日の研修は、グループ討議という有効な方法で問題点を多面的に捉えることが出来、良かったと思います。教育研修からいただいた「解説」を読む限り、危機管理の出来ていない会という印象を受けました。普段の山行もこのような「思い付き」で実施されていた会なのかと勘繰ってしまいます。それを割り引いても、なぜ、今回、十方山の転落事故を防ぐことが出来なかったのか。原因の一つは、「焦った」からではないかと思います。状況が悪化していく中で、リーダー、サブリーダーが次第に前のめりになり、それにつれて、全員が浮足立ってしまったという印象です。

更に、状況をグループ全員で共有出来ていたのかどうか。例えば、道が無くなったとサブリーダーが言った時の反応など。この事例を他山の石として、改めて、岳人あびこで教わっていることをしっかり身につけねばと思いました。日頃から危機管理をイメージしておきたいと思いました。

- ・とても、考えさせられた事例でした。机上ならいくらでも正常な判断が出来ます。でも、自分がその一員だったらと思うと色々な状況に流されてしまったかもです。ただ、私の班の誰かが「なんでも言い合える雰囲気の間仲間だったら」と漏らしていました。そんな会でありたいと思いました。
- ・私には 難しい問題です。まず感じたことは、山の第一原則、早出・早着の原則が有りません。岳人では「山行をする人の自立」を目指していると思いますが、このパーティに参加する人の自立が感じられません。
- ・今まで山に登っていて、怖い事故もなくやってきましたが、このように、沢山の原因を含んだ事故について皆様の意見を聞くことができ、勉強になりました。機会がございましたら また、宜しくお願いします。
- ・遭難事例を使つての事例研究で自分たちも陥ってしまうような要素があると感じました。今回リーダー、参加者の課題に的を絞って皆さんで意見を出し合えたことはよかったです。こうした事例を通して率直な意見を伝える習慣があることで、リーダーもメンバーもよいコミュニケーションがとれるのだと思いました。
- ・今回の研修は、遭難事例を皆さんで共有し、学び出来た事は会の山行に十分生かされると思います。遭難事故に遭わない為、みんなで意見を出し合ひましょう。そしてまとまりましょう。
- ・とても役立つ研修でした。道に迷い、日没で暗くなった急坂の下に林道を見つけた、20 年ほど前の小法師岳山行を思い出しながら討議に参加していました。以後、『迷ったら戻れ！』を心がけています。
- ・山を甘く見てはいけない... 自分たちもこの実践を教訓にして、山行中も自分たちの行動を確かめながら歩いていきたいと思いました。
- ・「十方山滑落死亡事故」の報告を聞いて。まさかの死亡事故と思いました。幕営地から先発より遅れての出発、途中で雪上訓練をし、計画書の予定時間よりほぼ 2 時間遅れ。途中、道迷いに気付いた時、戻ってマーカーなり正しい道を探さなかった。斜面の下に道が見えたため、急斜面をベテラン 2 人が降りた後、女性が降りるとき重い荷物を先に下ろすとか、降りる人の身の安全確保する方法をとらなかった。暗くなって焦って、冷静な判断が取れなくなった。誰しもあるのではないかと思う。しかしあつてはならないと思う。なので、地図読みと戻る勇氣、L、SL 任せにしない、メンバーの声を聴き、気を配る。基本を忘れず安全に登山したいと改めて思いました。
- ・今回の滑落事故死の事例は、起こるべくして起こったという気がします。日頃の地道な学習の積み重ねがいかに大切であるかを思い知らされました。学習することが山ほどあります。
- ・対策として考えられること（講師）
 - ① リーダーは現地をきちんと事前調査すること。
 - ② 技量に差があるメンバーがいたら下山を早めること。
 - ③ 道迷いに気付いたら GPS で現在位置を確認し、地図をチェックして正規ルートに復帰すること
 - ④ 自立した登山者として山行に参加することが求められる。

河津桜 大室山の旅

通勤時間を外すために早い時間に我孫子駅からスタート。コロナ明けなのか結構混んでいた。

上野駅乗り継ぎで熱海駅まで。熱海駅から河津駅まで。天気が良ければ伊豆高原駅から海沿いに歩くことも考えたが、条件が合わずまっすぐ。

河津川沿いに歩き休憩、また海まで歩き休憩。

伊東線まで電車移動。途中伊豆稲取の吊し籠を見ることができた。

伊東駅から川沿いに歩き、一山超えて瓶山保養所に着く。

温泉に入り食堂。懇親会后お眠りに。

翌朝食事してレンタカー屋さんまで歩く。三台に分乗で大室山登山口に着く。ロープウェイで頂上に着く。お鉢周りと浅間神社へ。

ナイフブリジかと思われるがコンクリートが敷いてあるので、泥まみれにならなかった。全方向眺望よし。

海底火山が隆起して爆発して今の形になり、城ヶ崎海岸はその溶岩流の名残りで、絵を描くのにはいい、奇抜な風景である。降りて、車で開福丸にて食事し、干物を買って帰る。

お疲れ様でした。

二日とも天気が良かった。河津桜開花二部咲き。

菜の花と桜の花のコントラストがいい。

黄色、緑、ピンク。

あー雪見どころの梅寒いかな

(2025年2月20日、21日)



1. 山行計画（令和7年5月～）

日 程	分	山 名	山 域	L/企画者	G	備考（目的）
5/10（土）	定	日向山	奥武蔵	一氏	1A	新緑を楽しむ 【募集済み】
5/10-11 （土一日）	定	ふれあいキャンプ場	五本松公園	小山		山食研究 【募集済み】
5/11（日）	準定	惣岳山	奥多摩	矢野貞	2B	奥多摩から大菩薩へ 【募集済み】
5/19（月）	定	大海原を眺める道	千葉県	小島洋	1A	県連ウイークデイハイク 【募集済み】
5/21（水）	定	薬師岳～三ノ宿	日光	大畠	2A	新緑とシロヤシオ
5/24（土）	定	赤城山	上州	北田/藤崎 村松	1A	大洞から黒檜山、駒ヶ岳周遊
5/27-28 （火水）	定	丹沢山	丹沢	新谷	2B	新緑とシロヤシオ
5/31（土）	定	小金沢連嶺	中央線沿	北角	2A	新緑と富士山
6/1（日）	定	御岳山～日の出山	奥多摩	外崎	1A	ゆるゆる山行
6/6-7 （金土）	定	南八ヶ岳	八ヶ岳連峰	藤家	2B	稜線の山小屋で天空の美しさを満喫 【募集済み】
6/14（土）	定	磐梯山	会津	松下	2B	火山登山を経験する
6/16（火）	定	平標山	谷川連	秋山	2B	花を愛でながら疲れない歩きをする
6/20-22 （金一日）	定	桃洞沢&森吉山	奥羽山脈	白崎	2B	初夏の広大なナメ沢（桃洞沢・赤水沢）と森吉山
6/21（土）	定	破風山	奥秩父	富井	1A	奥秩父の絶景と温泉を楽しむ
6/27-28 （金土）	定	上高地	北アルプス	小山	1A	さらなる上高地へ 【募集済み】
6/28-30 （土月）	定	蝶ヶ岳	北アルプス	小山	2B	蝶ヶ岳から眺める穂高連峰の朝焼け 【募集済み】
7/16-18 （水金）	定	白馬岳	北アルプス	土田	3B	大雪渓を歩き高山植物の宝庫へ 【募集済み】
7/25-26 （金土）	定	針ノ木～鳴沢岳	後立山連峰	鈴木忠/篠塚	4C	北アルプス中央部から大パノラマを望む
8/31-9/2 （日一火）	定	燕岳	北アルプス	村越	2B	北アルプスのパノラマを見る
6 月	定	箱根恩賜公園	箱根	齊田	1A	散歩を楽しむ
6 月	定	岩山	前日光	細谷	1C	クライミング訓練
6 月	定	麗人の森	越後湯沢	武内	1A	新緑のブナ林を歩く
6 月	定	三筋山	伊豆	室崎	1A	ブナ林を歩く
6 月又 11 月	定	王岳	富士周辺	矢野裕	2B	大きな富士山を見る
6 月	定	古峰ヶ原	前日光	中村育	1A	シロヤシオの群落を見る 「L 体調不良のため中止」
時期未定	定	大平山・晃石山	栃木県	大賀	1A	アジサイ坂のアジサイを鑑賞

2. 行事予定（令和7年5月～7月）

	月	日	行 事	場 所	備 考
当会	5月	6（火）	定例集会	我孫子北近隣センター並木本館	19:00～20:50
		20（火）	運営委員会＋山行部会	市民プラザ	19:00～20:50
	6月	3（火）	定例集会	我孫子北近隣センター並木本館	19:00～20:50
		17（火）	運営委員会＋山行部会	市民プラザ	19:00～20:50
	7月	1（火）	定例集会	未定	19:00～20:50
		15（火）	運営委員会＋山行部会	未定	19:00～20:50
県連		15（木）	理事会	zoom	19:00～21:00

3. 山行報告書の提出先：gaku.abi01@gmail.com（会報部メールアドレス）